

2023年11月30日

将監西小学校 学校運営協議会 【樗っ子応援団】 令和5年度 活動報告

- ✓ 身近な活動にするために・・・
- ✓ 活動スケジュールと熟議の様子
- ✓ 協議会の位置づけ
- ✓ 『育てたい子ども像』を図示化
- ✓ 【実績】(1)『大きもだめし大会』の振り返り結果
(2)『今後やってみたいイベント』を抽出
(3)地域の方に手伝っていただきたいこと
(4)樗っ子応援団の活動を広報
- ✓ 今年度の活動の振り返り
- ✓ 今後の協議会活動のポイント

【協議会 委員（敬称略）】

学校運営協議会：石黒会長(南町内会代表代行)
二階堂副会長(民児委員)

泉第二幼稚園：仲野園長

将監西児童館：後藤館長

地域防災リーダー：磐井SBL

西町内会：伊藤会長

南町内会：佐藤(節)副班長

公団自治会：菱沼会長

学校支援地域本部：大槻SV

西小PTA：遠藤会長、砂澤副会長、佐藤(祥)副会長

西小教員：高橋校長、鈴木教頭、菊地教務主任

身近な活動にするために・・・

学校運営協議会を『身近な活動』にするために、以下の取組みを行う。

➤活動方針を明確にする

➤知覚動考(ともかくうごこう)

知って、覚えて、動いて、考える。動く前に考えすぎない。60点OK主義で。

➤いつでも『子供が中心』を意識する(迷った時の拠り所とする)

➤活動を沢山行い、小さな成功を数多く経験する

➤振り返りを行いCAP-Do(Check-Action-Plan-Do)回す

➤協議会に愛称を付け、親しみやすくする

➤イメージキャラクタを設けてみる(既存の西仲丸のお友達を作る)

➤ITツールの活用

➤メンバー間で、タイムリーに、且つ気軽に情報共有や相談できるように、
LINEオープンチャットを活用する

➤活動の広報

➤専用の広報紙を検討する。また、年度末のPTA広報紙の活用も考慮する。

➤熟議は可能な限り『見える化』する

➤ポストイット(付箋)を使い、議論を可視化し、意見を出しやすくする

活動スケジュールと熟議の様子

	1/24	5/30	6/28	7/28	8/29	11/29
目的	【0:協議会の立上げ】 ・コミュニティ・スクール制度を理解する ・学校運営協議会の仕組みを理解する	【1:理想の姿の策定】 ・協議会の位置づけ/関連組織との関係を明確にする ・協議会の進め方を確定する	・熟議により理想の姿を確定する		【2:具体的取組みの検討/実践】 ・具体的な取組みを計画する	・地域との連携方法を検討する
アクション	・協働型学校評価の結果を把握する ・次年度の課題と目標について協議する	・熟議に関する基礎知識を学ぶ ・西小グランドデザインを理解する ・他校事例を知る	・理想の姿『育てたい子ども像』の要素を明確にする	・『育てたい子ども像』と『グランドデザイン』の整合性を確認する	・大きもだめし大会を振り返る ・今後やってみたいイベントを抽出する	・教職員から出された「地域の方に手伝っていただきたいこと」の実践を具体化する
成果	・協議会の立上げ	・協議会の位置づけ	・『育てたい子ども像』の要素	・『育てたい子ども像』	・振り返り結果 ・イベントリスト	・手伝っていただきたいことリスト



協議会の位置づけ

樗っ子（西小っ子）

わくわくする楽しいイベント、支援やお手伝い

【西小】

校長
教頭
教員
職員

協力
要請

支援
提案

【樗っ子 応援団】 《活動方針:子供を中心に、知覚動考》

団長:学校支援地域本部（西小笑顔のWA!）大槻SV

- ・ 各種イベントへのアドバイスを行い、団長付と共に推進する
- ・ 学校側からの協力要請やお助け隊からの支援/提案を団員と調整する

団長付:教頭/地域連携担当教員

- ・ 団長と共に各種イベントを推進する
- ・ 「親父の会(仮称)」を立上げる

副団長:PTA会長/副会長

- ・ 保護者の参加/協力を促す
- ・ 委員会活動でのお助け隊活用

団員(協議会委員):お助け隊との連絡役

- ・ 団長/副団長からの要請を所属するお助け隊へ展開する
- ・ 所属するお助け隊からの支援を団長/副団長へ提案する

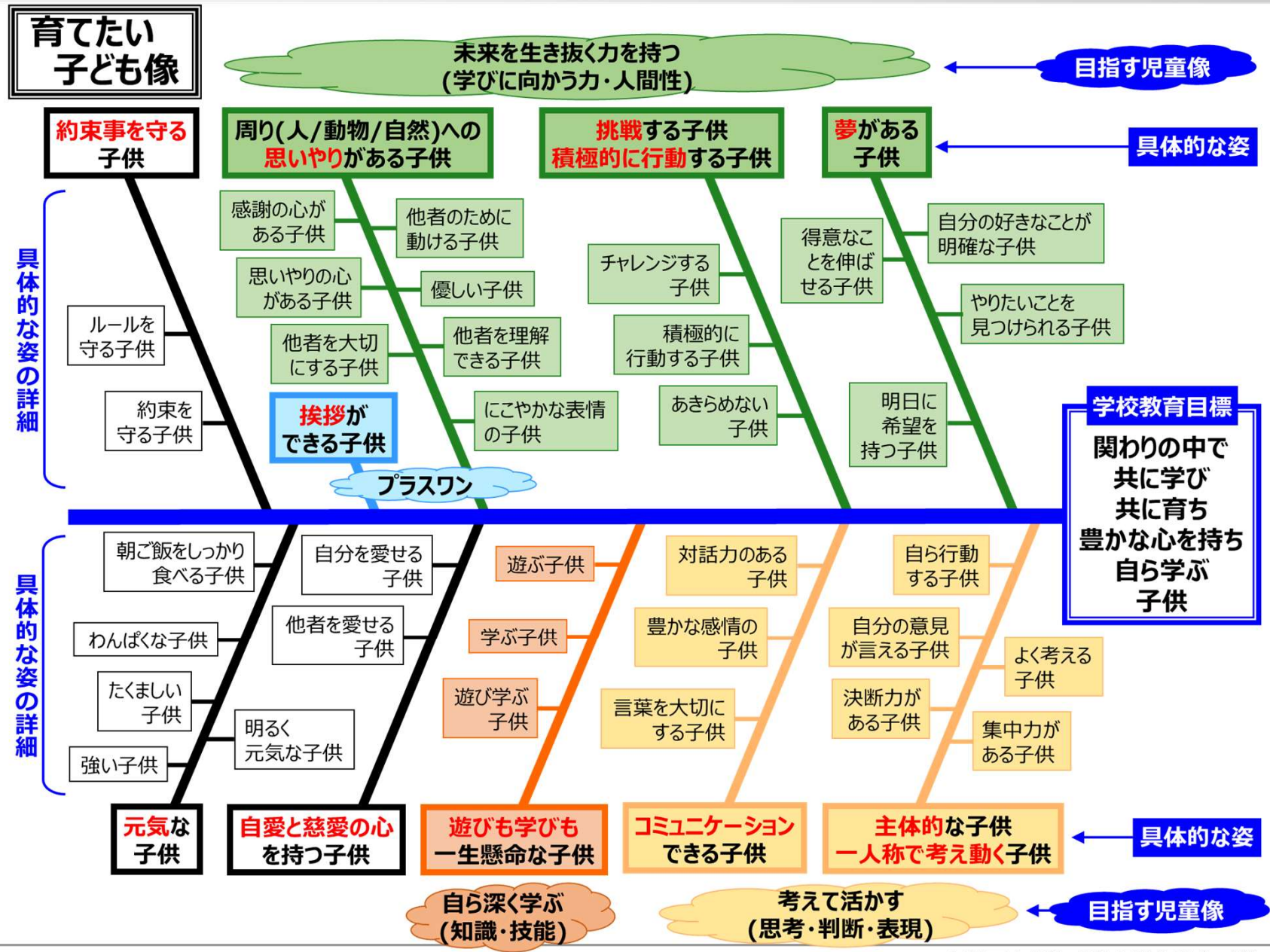
お助け隊(仮称):サポーターやボランティアを派遣する地域団体等

親父の会(仮称) 13丁目町内会 西町内会 南町内会 公団自治会
泉第二幼稚園 将監西児童館 民生児童委員 SBL

学校運営協議会

学校運営や必要な支援に関する協議を行う合議体。
イベントの実施案や困り事を協議し解決に導く。

『育てたい子ども像』を図示化



【実績1】『大きもだめし大会』の振り返り結果(1)

7月28日に実施した『大きもだめし大会』について、Keep(良かったこと)、Problem(問題だったこと、直した方がよいこと)、Try(改善案、次の活動でやってみたいこと)の三つの観点で振り返りを実施した。意見は付箋(ポストイット)で可視化。

【Keep:良かったこと】

- 大人も子ども、西小卒業生も多く参加してくれた
- ボランティアを含め、みんな楽しくできた
- 実施時間やコースの設定などが上手くできた

【Problem:問題だったこと、直した方がよいこと】

- 事前準備が十分でなかった
- スタッフ申込時の連絡先記入欄が不足していた
- 親交を深めることができなかった
- 地域住民の参加がなかった

【Try:改善案、次の活動でやってみたいこと】

- 運営体制をきちんと準備する
- 地域住民の参加も促進する
- やってみたいイベントが数多く出された



【実績1】『大きもだめし大会』の振り返り結果(2)

振り返り結果から、『企画』や『当日の運営』の段階に、**Problem**(問題だったこと、直した方がよいこと)や**Try**(改善案、次の活動でやってみたいこと)が多かった。

今後に向けてのアクションは・・・

今後のアクション内容	例えば・・・
企画段階で運営体制を明確にする	事前の準備や段取りを入念に行う ・体制表やタスクリストにまとめる
当日の役割分担/タイムスケジュールを決める	
必要な機材(インカム(トランシーバー)やメガホン(拡声器)、懐中電灯など)等の手配	
将監中ココ活ボランティアの活用	将監中学校運営協議会と連携 (年度初めに情報共有する)
地域の方の参画を図る	・地域の方にスタッフで参加頂く ・防災訓練と抱き合わせる
楽しむ、楽しくやる	・アフターの企画 ・おやじの会(仮称)の立上げ
活動内容/結果の地域への広報	樺っ子通信へ掲載し地域回覧する

【実績2】『今後やってみたいイベント』を抽出

- ◆ 提案された各イベントは、それぞれに準備期間・費用・スタッフ数・許認可要否などから**実施の容易性を判断し、出来るものから実施**していく。
- ◆ 初めから高い(大きな)成果を求めず、“60点OK” 主義で、**成功体験を積上げる**。

分類	イベント内容	詳細	実施時期	場所					準備する物	準備期間	費用	スタッフ数	許認可要否	実施容易性	実施順番
				教室	校舎	体育館	校庭	その他							
紙芝居	パネルシアター		通年	○		○			シアターパネル						
紙芝居	紙芝居		通年	○		○			紙芝居						
キャンプ	学校キャンプでたき火トーク		夏				○		キャンプ用品 薪						
キャンプ	親子キャンプ		夏			○	○		キャンプ用品						
キャンプ/宿泊	お泊り会	昼過ぎ集まる 工作(ペットボトルロケット) カレー作る	夏 秋	○		○	○		キャンプ用品 工作材料 炊事材料						
キャンプ/防災	災害想定訓練	避難所開設訓練含む	春~秋			○	○		-						
コンサート	中学吹奏楽部 合唱部		通年			○			-						
スポーツ	ニュースポーツ大会	ベタンク カロリング ラダーゲッター	通年			○	○		各種道具						
スポーツ	スポーツ交流会	バドミントン キンボール モルック	通年			○			各種道具						
スポーツ	グランドゴルフ大会		春~秋				○		道具						
スポーツ	泉ヶ岳あるくスキー	スノーシュー	冬					スキー場	道具						
体験	きもだめし		夏		○										
体験	手遊び		通年	○		○									
体験	夏祭り		夏	○		○	○								
体験	薪割り体験会	自分たちで割った薪で火をおこし、沸かしたお湯でコーヒーを入れ、味わう	春 秋				○		道具						
バザー	おもちゃ交換会	使わなくなったおもちゃの交換	通年	○		○			-						
水遊び	ウォーターカーニバル	水鉄砲 水ヨーヨー	夏				○		水鉄砲 持参/貸出用						
ものづくり	ぬりえ大会	西仲丸キャラクター	通年			○			クレヨン 絵具 色鉛筆						
ものづくり	モザイクアート		通年	○		○			クレヨン 絵具 色鉛筆						
ものづくり	綿あめ作り	機械がある	通年				○		材料						
ものづくり	やきいも会	5月植える 10月収穫 11月やきいも	5~11月				○		種芋 肥料等						
ものづくり	みんなで七夕飾りを作ろう	どこかに展示	7月	○		○			材料						
読み聞かせ	読み聞かせ会		通年	○					本						

【実績3】地域の方に手伝っていただきたいこと

教職員からリクエストされた「手伝っていただきたいこと」について、**詳細な支援内容**や**対応時期**、**頻度**を確認し、**お助け隊**(サポーターやボランティアを派遣する地域団体等)にて**支援者の選任を進めること**となった。

カテゴリ	項目	希望内容	意欲や情熱の他に必要なスキル等	時期	頻度
授業補助	音楽	学習発表会に向け、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、特別楽器のパート練習や合奏、合唱の練習支援/指導	趣味で音楽活動をやっている方 吹奏楽部/合唱部のOB/OG	9/末～ 10/中	週3回
	書道	書写の時間で、初めて書道にふれる3年生の最初の段階で、道具の置き方、筆の持ち方、筆使い等の指導支援	書道有段者 指導経験者等	6月～ 7月	2ヶ月間で 3～4回
環境維持	花壇/畑のプロデュース	校地内での花壇や畑づくり全体を企画・指導する(設置場所選定、土づくり、植える植物の選定～育成)	・季節に合わせた花壇への花植え ・秋に焼き芋大会を計画するためのサツマイモ作りの要望あり。	通年	作業内容による
学校運営	会計ボランティア	会計業務のうち、手作業(伝票作成など)部分の支援	セキュリティ面から会計ソフトの操作は無し。現金も扱わない。	通年	毎月月末
防犯活動	通学路の安全点検	防犯巡視と危険個所の情報提供	予めマモライダー巡視ルートに点検箇所を追加する	通年	
	公園巡視	午前授業日の午後に公園の様子を巡視		通年	午前授業日は6回/年

【実績4】 櫻っ子応援団の活動を広報

学校運営協議会「櫻っ子応援団」の活動内容を保護者や地域に伝えるため、学校運営協議会だより『櫻っ子応援団通信！』を3回発行した。

仙台市立将監西小学校 学校運営協議会だより

櫻っ子応援団通信！

R5/8/25 第1号

学校運営協議会って？

学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組み、特色ある学校づくりを進めるしくみです。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条」で、各学校で設置するよう定められています。

将監西小学校の学校運営協議会が「櫻っ子応援団」です。現在12名の委員が学校から推薦され、市からの委嘱を受けて活動しています。

学校運営協議会は、委員のみの活動ではなく、保護者や地域の皆さんの協力の下、地域絡むみで子供たちを育てていくことが目的です。「櫻っ子応援団通信！」では、運営協議会で話し合われたことや皆様に協力していただきたいこと等をアナウンスしていきます。

～令和5年度の取り組みについて～

- 第1回(5/30) ～理想の姿『育てたい子ども像』を明確にする～
 - ・西小グランドデザインを共有
 - ・学校、地域と協働してどのような子供を育てたいかを出し合う
 - ・『育てたい子ども像』を整理、共有(裏面参照)
- 第2回(6/28)
- 第3回(7/28) ～「理想の姿」を実現する取り組みの検討～
 - ・やってみようこと抽出
 - ・やってみようことと理想の姿とのつながりを確認
 - ・優先度、実行体制を決める
- 第4回(8/29) ～やってみようことの実行～ 一実行内容の振り返り
 - ・第1回の取り組みとして、PTA親父の会(仮称)とのコラボで、「大きもだめし大会」を企画開催。100名以上の参加と10名以上のボランティアが協力。
- 第5回以降



仙台市立将監西小学校 学校運営協議会だより

櫻っ子応援団通信！

R5/8/30


第4回 学校運営協議会が行われました

8月29日(火)に第4回学校運営協議会が行われました。学校運営協議会(櫻っ子応援団)は、「西小の子供たちが『育てたい子供像』に近づくことができるよう多様な支援・お助けを行うこと」「学校運営において必要な支援を行うこと」を目的としています。

今回話し合われた内容は、「大きもだめし大会の振り返り」「今後櫻っ子応援団として取り組みたいこと」の2点です。

西仲丸のお友達に名前を付けよう

櫻っ子を支える保護者や地域としての学校運営協議会のマスコットキャラクターとして「何か親しみがわくものを作りたいね」という話が上がっていました。西小のマスコットキャラクターで子供たちにおなじみの「西仲丸(にしなままる)」ですが、その友達として白いウサギのようなキャラクターが存在しています。特に名前は決まっていなかったこと、今回、西小を支える地域や保護者のイメージとして、西仲丸と一緒にいるお友達に名前を付けてみようという話になりました。学校運営協議会からお願いという形で、今後子供たちから名前を募集する流れになるかと思っています。どんな名前になるのか、楽しみです。




今後やってみようこと抽出

「育てたい子供像」に近づくために、今後取り組みたい活動について出しました。これらの中から整理して、今後取り組みたい活動を企画していきたいと考えています。

- 校庭で災害想定キャンプ
- ニュースポーツ大会(ベタンク、カラーリング等)
- スポーツ交流会(バドミントン、キンボール、モルック等)
- 巻き割り体験会
- サツマイモを植えて焼き芋会
- 水餃会、水ヨーヨーで遊ぶ
- モザイクアート
- かき氷やしそめん
- 中学校のプラバによる演奏会
- 西仲丸ぬりえ大会
- プラモデルワークショップ
- おもち交換会
- わたあめづくり
- 読み聞かせ会、ハネルシアター

取り組みたいアイデアや講師を頼めそうな人材をご存じの方は、ぜひ将監西小(373-1287)までお知らせください。どうぞよろしくお願いたします。



仙台市立将監西小学校 学校運営協議会だより

櫻っ子応援団通信！

R5/10/23 第3号

地域の皆さん(学校運営協議会)に助けていただきたいこと

以前お寄せいただいた「地域の方に手伝っていただきたいこと」を共有いたします。次回学校運営協議会でも共有したいと思います。

- 合奏や合唱の音とりの手伝い
 - 一学習発表会。指導はできないが、ミシンボランティア的な関わりと考えればありか。
 - 一筆の立つ方に書きぞめ補助といった関わりもありか。
- 長期休業中や土日休日の畑の水やり
 - 一前任校は特別支援学級の畑で白菜と大根を育てていました。地域の野菜作りが得意なおばさんがいろいろプロデュースしてくれていました。
 - 一土日はともかく、夏休み中に何度か来て様子を見ていただくならありか。
- 学年会計
 - 一ちなみにスクールサポートスタッフは・・・
 - 「教材費の支払等に関する帳簿入力等会計業務」は可となっている。
 - 一制度として会計を地域のボランティアさんにやっていただけるかの確認
 - 一やっていただくことすれば、年度を通して継続してサポートをもらう必要ありか。
- 子どもたちの通学路等の安全点検
 - 一週1or2で、防犯監視ボランティアの皆さんが見回ってくれています。危険箇所の情報があれば日誌に記入し、教頭に教えていただけるようアナウンスしていきます。
- 午前授業等短縮で早く帰る日に、公園の見回りをしてほしい
 - 一制度として組織を立ち上げ、実施は現実厳しいか。(現在マモライダーさんも新規参加はないのです)
 - ・4時間授業の日の公園の過ごし方を指導【学校】
 - ・地域の方々に現状をアナウンス【地域】(4時間の日の公園が・・・)
 - ・「ちょっと気にかけて見て」「ひどいとき知らせて」をアナウンス【地域】

豆知識 ～学校運営協議会の区切りについて～

学校運営協議会は、11月で区切りとなり、12月より新しい体制でスタートとなります。中途半端な時期と思うかもしれませんが、これは、12月に行われる「学校評価アンケート」を受けて、4月からの新年度に向けての計画立案の段階から新体制で動き出したいというねらいがあり、全市的にこのような区切りとなっています。

今年度の活動の振り返り

今年度の協議会の活動について、熟議の進め方や実施内容などを対象にし、振り返りを実施。意見は付箋(ポストイット)で可視化。

分類	振り返り結果 (○:良、△:対策が必要、×:改善/見直しが必要)
協議会の目的	【○】子供たちを第一に考え、子供たちを中心にした活動ができ、当初目的の一つは達成できた。
活動環境	【△】校舎内に児童がいる場合は校地入口門扉を締めており、安全確保との兼ね合いとなるが、 オープンな雰囲気を感じられる対処が必要である。
会議運営	【○】 会議資料 は、分かりやすくするために 可能な限り図式化 された。 【○】テーマが重いため、堅苦しい会議にならないよう進行された。 【×】 会議の開催頻度が多かった ため、忙しいメンバーが苦勞した。 【○】協議会の狙いの『 熟議 』は十分に実施できた。
情報共有	【○】 LINEオープンチャット を活用しメンバー間のタイムリーな共有が図れた。 【△】保護者や地域への協議会の 活動状況や成果の広報がさらに必要。
お助け隊	【○】教職員から提示されたニーズの具体的な支援活動が開始される。
連携活動	【○】西小CS活動が動き始めたので、 他校や地域との連携も出来そう。

今後の協議会活動のポイント

- ◆これまで以上に『育てたい子供像』に沿うイベントの企画／実施を進める
- ◆おやじの会(仮称)の設立
- ◆会議の運営方法やLINEを使った情報共有は継続
- ◆学校ニーズに答えるお助け隊活動による「学校と地域の連携（副次作用としての地域間連携も）」の推進
- ◆保護者や地域への広報方法の検討と実践
- ◆他校の運営協議会との連携